

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1 運営・利用状況 (40点)	利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値			開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。		-	
	②利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値			105%以上10点	H25年度来館総人数 幼児1,680名 小学生3,877名 中高生427名 大人2,820名 総合計 8,804名 H26年度来館総人数 幼児1,628名 小学生4,862名 中高生532名 大人2,973名 総合計 9,995名 H27年度来館総人数 幼児2,462名 小学生5,068名 中高生501名 大人3,179名 総合計 11,210名 ・中高生以外、全体的に来館者数が増加した。その要因は、新規事業を増やしたこと、移動児童館の回数を増やしたこと、行事の拡充を行ったことなどが挙げられる。新規事業に於いては、「おさんぼクラブ」「さつまいもの苗植え体験」「共栄文化祭」参加など、行事の拡充としては、「カブトムシ K-1グランプリ」「もちつき体験」などである。		10点			
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児対象事業(1年間に渡り、月11回程度開催、計130回開催、述べ約2970名参加) ・児童対象事業(1年間に渡り、月12回程度開催、計152回開催、述べ約1579名参加) ・多世代間交流事業(1年間に渡り、月1、2回程度開催、計18回開催、述べ約1051名参加) ・一般来館者対象事業(1年間に渡り、月4回程度開催、計49回開催、述べ約390名参加) ・子どもボランティア事業(1年間に渡り、月3回程度開催、計39回開催、述べ約156名参加) ・中高生事業(1年間に渡り、月1回程度開催、計10回開催、述べ約73名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(1年間に渡り、随時窓口を設け、計27回開催、述べ約62名)		仕様書以上13点	・仕様書以上の事業を展開できた。 ・乳幼児対象事業では、新規事業「おさんぼクラブ」を開始し親子で体力増進に繋がった。ニーズに応え、「リトミック」と「えいご」の対象年齢枠を2歳から1歳半からと広げ実施した。 ・児童対象事業では、「チャレンジキッズ」を女子限定のクラブから、男子も参加できるように内容をアウトドアや自然体験など取り入れたクラブにすると親からも好評で喜ばれた。 ・多世代交流事業の「共栄文化祭」では、青少年まちづくりと協力し子どもスタッフが1日遊びのコーナーを実施し、地域のお祭りを盛り上げた。 ・中高生事業では、さらに新規事業「パパ・ママブレ体験」を行い、乳幼児の命を考える良い事業となった。 ・地域の特性を生かした事業では、地場産業の「高田焼き」を知ってもらえるよう、高田工業組合に協力を得て、作陶体験や絵付け体験、工場見学をさせていただき、共栄ならではの事業が展開でき、参加者からも喜ばれた。		13点	

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・地域の特性を活かした事業(1年間に渡り、月2回程度開催、計49回開催、述べ約1988名参加) ・自主事業(1年間に渡り、4回開催し、述べ約189名参加)	期待以上13点 ・地域の特性を生かした事業では、地域を巻き込みながらいくつかの行事が行え、よい交流ができた。その色々な行事を通じて、今後の行事にも繋がる力強い地域の協力者との結びつきができた。 ・ファミリー事業にも力を入れ、参加者の希望を聞いてアンケートから出た声の行事を実施して行ったので好評だった。 ・社協児童館・児童センターの合同行事は、児童クラブにとつてはとても刺激になるし、やる気にも繋がった。幼児親子対象では、大きな講演が開け、親子でふれあえる時間がもてた。 ・障害を持つ子の遊び場の確保や福祉体験を通し、児童の心を養う事業ができた。	13点	
2	施設管理状況(25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・定期清掃・日常清掃を行って環境整備を整えている。 ・毎日館庭整備(枯れ葉掃き掃除、ねこのふん除去と消毒、草むしり)、週に2回の溝掃除を行った。	適正(普通)2点	・適正に実施した。	10点
			②保守・点検			・電気工作物・運動遊具の保守点検は委託により実施。館庭整備の一部は委託により実施。	適正(普通)2点	・適正実施した。	
			③保安・警備			・非常通報装置・消防用設備の保安点検は委託により実施。夜間の館内警備については委託により実施。	適正(普通)2点	・適正実施した。	
			④小規模修繕			①壁掛け扇風機修繕9,374円②畳修繕45,360円③屋根雨どい泥除去3,000円 ④和室戸開窓補修、湯沸かし室内食器棚レール補修3,000円⑤コピートナー交換18,000円 ⑥窓オペレーター調節4,300円⑦卓球台補修5,000円⑧館庭ぞうさんすべり台塗装補修10,000円 ①～⑧については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行い、利用者によりよい環境作りに心がけた。	適正(普通)2点	・修繕箇所が発生した場合は、速やかに対応した。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			まむし出没の注意喚起、館庭の石広い(陶器類)、蜂の巣駆除、館庭遊具の修繕、古いバスケットゴールの撤去	適正(普通)2点	・適正に実施した。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書管理規定に基づき管理している。	適正(普通)2点	・文書管理規定に基づき適正に管理した。	10点
			②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応。紙はリサイクル紙、裏紙も使用している。 ・市役所や他の児童館等ほの連絡事項はメールで対応し、紙の利用を控えている。 ・飲食を伴う行事は箸や器を持参してもらい、廃棄物の御制に配慮している。 ・冷暖房は28℃と設定し環境に配慮している。電気はこまめに切っている。午前中はなるべく冷房を使用せず、プールの水で水打ちをし、暑さ対策をしている。	適正(普通)2点	・適正に実施した。	
			③バリアフリー			・廊下に手すりを設置。 ・廊下に障害物となる物等を置かないように努めた。	適正(普通)2点	・適正に実施した。	
			④備品管理			・会議テーブル2台、折り紙ケースを補充した。	適正(普通)2点	・備品台帳に沿って適正に実施した。	
			⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を制定し、適正に管理。	適正(普通)2点	・適正に実施した。	

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・特になし	事故なし・対応に不備なし 0点	・社会福祉協議会内での事故報告は、全職員に周知情報を把握した。		0点
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	・10,253,410(収入)÷10,787,356(支出)=95%	100%未満 3点	・指定管理委託料の範囲内で適正に事業を行なった。 ・職員配置に伴う人件費が上がった。		3点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・アンケートボックスを設置して随時、意見を受け付けるとともに、クラブや行事等後にその都度アンケートを実施している。 ・ファミリー事業、乳幼児クラブ、デイキャンプでアンケートを実施し、参加者から再び要望があった消防署見学や家ではできないダイナミックな運動遊びや地場産業に協力を得て事業を実施して好評だった。	期待以上 9点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。		9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	・社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設定し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設け対処している。		4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・館庭の一輪車の手すりの下に人工芝を敷きいつでも安全に遊べるようにした。また敷いたことで草が生えてこなくなり、館庭整備にもなった。 ・畳を新しくし、幼児用おもちゃは定期的に消毒し、清潔を心がけ気持ちよく利用してもらえるように心がけた。 ・夏に暑さ対策として、脳トレやブロックを取り入れて、座って静かに遊べるよう工夫した。 ・母親クラブ支援事業を行い母親クラブの設立、育成に努めている。 ☆☆ ・社会福祉協議会の特性や総合福祉センター内の障がい者、老人センター、母子父子福祉センターとの交流事業を実施した。 ・同指定管理児童館で共催事業を行い、校区外の親子の交流を図った。 ・講師を招いて実技研修(工作・一輪車・防犯訓練・AED・支援児について)職員研修(社協全体研修・東濃ブロック研修・各館持ち寄り体操や作品交流研修)を実施した。 ・毎月1回代表者会議・閉館後、常勤職員会議を実施し、各館との交流・ヒヤリハットなど周知している。	期待以上 14点	・利用しやすい環境づくりを心がけ配慮した。 ・社会福祉協議会の特性を活かした事業を実施した。(母子・父子福祉センター、発達支援センター、障がい者福祉センター、デイサービス) ・資質向上のため、職員研修(不登校や支援児親子)を行ったり、常勤職員全員で会議を行い、事業運営の向上を図っている。		14点	

4. 採点表									
評価項目		細目	配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微): △1、一部遅れ・不備あり(中程度): △2、一部遅れ・不備あり(それ以下): △3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	・適正に実施した。		0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり: 減点なし、対応等が期待以下(軽微): △1、対応等が期待以下(中程度): △2、対応等が期待以下(それ以下): △3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・適正に実施した。		0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計86点
							全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・参加者の満足度、地域との連携など概ね良好である。 ・利用しやすい環境づくりや、新規事業を増やしたり事業を工夫した点は評価できる。		極めて良好